

会員ニュース

発行 平成20年11月10日

ヴォックス音楽吟詠会

責任者 広報委員 一木翔雲



南雲一廣先生 遺訓

ヴォックスの芸術吟詠で、人の心に息吹を与え、
荒廃した人心を詩吟の魂で生き返らせた。

信玄・謙信 一騎討ちの像

川中島古戦場 八幡原史跡公園

(提供 信越地区 飯島真道)

甲斐の知将・武田信玄と越後の勇将・上杉謙信は、北信濃の川中島を中心に十五年にわたり五度の合戦を繰り広げた。

ここ八幡原史跡は、武田信玄の本陣がおかれた場所である。永禄四年九月十日(一五六一年)両軍最大の激戦となった第四回目の戦いにおける死闘の最中、信玄の本陣が手薄となった、その時、金の星兜に白覆面をし、紺糸織の鎧に萌黄緞子の胴肩衣を纏った謙信が、名馬・放生に跨り、陣幕を押し破り、隼の如く駆け寄りざま、三尺の太刀・長光で信玄めがけて間髪を入れず斬りつけた。一方、信玄は、諏訪法性の兜、黒糸織の鎧に緋の法衣を纏い、右手に鉄軍配を持ち、床机に坐したまま、咄嗟に軍配でその太刀を受けた。続く二の太刀で腕を、三の太刀で肩に傷を負った。

この時、信玄の近侍の繰り出した槍は狙いが外れ、謙信の馬の尻を突いた。驚いた馬は、謙信を乗せたまま激戦の中に消えたという。この銅像は、両雄を偲び、激戦の地を後世に伝えるため、史実に基き、昭和四十四年に長野市他によって、建立されたものである。

心豊かな 人生を



会長

岩淵公胤

ヴォックス音楽吟詠会・全国各地の皆様には、日々心豊かにご健勝にて、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃は、ヴォックス音楽吟詠会に暖かいご支援ご協力を賜っておりますことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。全国執行部会議も終り、四月三十日、前会長故南雲一廣先生の御奥様に、事務総長・草薙典龍先生共々、ご挨拶・お悔やみ申し上げ、烏山町の幸龍寺に眠る南雲先生のお墓に、各地区有志の皆様二十人で参らせて頂きました。先生もきつと喜んで下さった事だと思います。ご参加下さった皆様には、ご遠路のところご苦勞様でした。重ねて感謝申し上げます。二度と無き人生を、如何に心豊かに送ることが出来るか、それは「腹を作る」ことではないでしょうか。物事に動じない、腹を立てない。どのような難局にあっても冷静に対処出来るか、腹が据わる・肝っ玉が据わる・怒らず・騒がず！

吟！によって、お互いに思いやり、俺が（我が）の「我」も取れ、協調性が出来てくると思います。更に節はメロディーを、音の強弱・高低・長短はリズムを、ハーモニーは和音（合吟）の音楽的調和であると思います。亦、五声音階の陰旋法（ミファラシド）と陽旋法（レミソラド）を用い、詩の内容に応じた豊かな作曲も出来るのではないのでしょうか・・・。

今の乱れた世の中、立て直すには詩吟が一番だと思います。必ず必ず詩吟が見直される時が来ると確信しています。ヴォックス音楽吟詠会の未来に栄光あれと念じ、会員の皆様には今後のヴォックス活動にあたり、更なるご支援・ご協力を賜りたいと願っております。十月五日、ヴォックス音楽吟詠コンクール第二十九回全国決勝大会は、各地区本部の絶大なるご理解ご協力を賜り、成功裏に挙行出来ましたことを、深く感謝申し上げます。御礼申し上げますと共に皆様のご健勝と併せご多幸をお祈り申し上げます。

第29回吟詠コンクール 全国決勝大会

プログラムご挨拶掲載



事務総長

草薙典龍

ご来場の皆様、お蔭様でヴォックスも二十九才を迎え、来年は記念すべき三十周年となります。現在、中部がヴォックスの総本部を、お預かりしておりますが、今はなき創始者作曲家・南雲一廣先生の信条、「流派のもつ素晴らしい持ち味を生かしての真の芸術吟詠」中略「荒廃した人心を詩吟の魂で生き返らせたい」を理念に邁進しております。

本日は、全国各地の予選を勝ち抜いてこられた、皆様による決勝大会でございます。選手の皆様は、日頃鍛えた素晴らしい吟詠を披露して下さい。ものと期待して止みません。

ヴォックスは、今後とも皆様の暖かいご支援のもと、本会の理念を糧として、各地区共に一致団結して、少しでも吟界発展のために寄与して参りたいと存じます。後になりましたが、中部地区役員のご尽力と関係各位の、お力添えに感謝申し上げます。私のご挨拶と致します。

故南雲一廣先生を偲んで

一周忌墓参会 ◇ヴォックスの誓い新た◇

東京地区本部長
寺橋 暁穂



日蓮宗 幸龍寺

去る四月三十日(水)風薫り若葉の緑もすがすがしい中、故南雲一廣先生の墓参会が、東京地区中心に各地区役員有志により行われた。岩淵公胤会長・清水源翁名誉会長はじめ、東京地区会員十名、草薙典龍副会長はじめとして中部地区会員数名、更に遠路のところ各地区より数名の先生方が参集され約二十名の墓参会となった。



南雲家の墓所は、新宿より京王線「千歳烏山駅」下車徒歩約二十分の閑静な住宅街にある「妙佑山幸龍寺」である。集合場所は「千歳烏山駅」。午後一時には東京地区を始め、各地区の先生方の集

合が終り、岩淵会長、草薙副会長、清水名誉会長の三名の先生が代表で、ご焼香と奥様へのご挨拶のため南雲家に向い、他の先生方は、駅近くの喫茶店「ベローチェ」でお待ちする。約三十分程で三名の先生が戻られ、タクシー五台に分乗して「幸龍寺」へ向う。

この辺は、「烏山寺町」と呼ばれ、お寺が非常に多い地域である。お寺の案内に依れば、「関東大震災復興のための区画整理により、浅草・築地・本所・深川などの東京下町の寺院が移転して、二十六カ寺からの寺院街が形成されました。

いつしか、昔ながらの静かなたたずまいから「東京の小京都」と呼ばれ、区民や都民の訪れる散策の地ともなっています。」とある。又幸龍寺は、

「天正七年、徳川家の祈願寺として開山、蓮門江戸五山の随一と謳われる名刹」とある。山門を入ると、広大な境内の真正面に荘厳な本堂があり、入り口に掛けられた幕には、左右一対に「三ツ葉

葵」の紋が見える。やはり徳川家由緒のお寺のようである。本堂に向かつて右側には別棟が連なり、会館・客殿・書院・清正公堂・檀信徒休憩所等がある。本堂の右横を通って進み、左に曲がると左側に南雲家の墓地がある。墓前にお花を供え、交代で墓石に打ち水をし、お線香をたむけて、会長以下全員でご冥福をお祈りした。この後、草薙先生の先導、木村竹峰先生の尺八伴奏で「ヴォックスの詩」を南雲先生の霊安かれと念じつつ合吟した。更に南雲先生の編曲でゆかりの深い「おやじの海」の合唱と続いた。こうして墓参会は終了し、またタクシーに分乗して烏山駅へ向う。永い間ヴォックス音楽吟詠会の会長として御尽力を尽くされた南雲先生。

先生は、作曲家として相応しい閑静な墓所にねむっておられます。大変お疲れ様でした。どうぞ、ごゆっくりおやすみ下さい。

合掌

(取材 実務委員 谷口松峰)

平成20年度 ヴォックス音楽吟詠会
全 国 決 勝 大 会

速 報

部門別優勝者

文部科学大臣賞に輝いた沢田さんの笑顔



文部科学大臣賞
沢田 千鶴香
 (中部地区)



ヴォックス音楽吟詠コンクールは、10月5日(日)名古屋市教育センターホールにて、決勝大会が開催されました。速報で掲載いたします。優秀表彰者は左記の通りです。詳細は、次号56号に掲載いたします。

第一部	小塚 晃央	(東京地区)
第二部	唐木 さやか	(信越地区)
第三部	沢田 千鶴香	(中部地区)
第四部	大久保 正義	(播磨地区)
第五部	鎌井 省吾	(播磨地区)
第六部	(合吟)	(近畿地区)
	善茂砂 浩子	
	野津 敦子	
	森山 恵美子	
	谷口 幸枝	
	中須 澄代	



大会前の、真剣な審査員会議

お 知 ら せ

平成21年度 ヴォックス音楽吟詠会
吟詠コンクール全国決勝大会

日 程

平成21年10月4日(日)
 東京:江戸博物館ホール

ヴォックス音楽吟詠会

第二十九回全国吟詠コンクール決勝

大会に寄せて

信越地区 片倉 清風

憤發して老生尾張に上る

神宮に祈願して 杞憂を壊ふ

會心の競技 端に高逸

知る是れ來茲の 吉祥に連なるを

【鶴の恩返し】

場工水司先生の世界 《近畿地区》
副会長・近畿地区本部長 岡田岳龍先生推薦

背薪老叟下山林
 帰路田園白雪深
 聞遠鶴唳懸罔罟
 老叟寄直救鳴禽
 還家尽欲語老嫗
 刻同麗人求宿尋
 玉屑紛々無識止
 寒波凜々不憇禁
 借宿恩情溢歡喜
 嫡子結縁誓愛心
 時娘絹糸欲望買
 父忽下街索糸砧
 娘言機房決勿見
 才媛日夜響織音
 織布羽糸非是並
 翁嫗因茲得黃金
 嫗不耐看見終織
 鶴殘禮飛彼方岑

(読み下し)

薪を背負うて老叟 山林を下る

帰路の田園 白雪深し

遠くに聞こゆ鶴唳の 罔罟に懸るを

老叟直ちに寄りて 鳴禽を救う

家に還つて尽く 老嫗に語らんと欲せば

刻同じくして麗人 宿を求めて尋ぬ

玉屑紛々として 止むを識無く

寒波凜々として 禁に憇びず

宿を借る恩情 歡喜に溢れ

嫡子として縁を結んで 愛心を誓う

時に娘は絹糸の 買うのを望まんと欲すれば

父は忽ち街に下りて 砧と糸を索めんとす

娘は言う機房は 決して見る勿れと

才媛は日夜 識の音を響かせる

識たる布は羽の糸にて 是並のに非ず

翁嫗は茲に因りて 黄金を得んとす

嫗は看ざることに耐えられず

識りを終に見るなり 鶴は禮を残して飛ぶ

彼方の峰へと

語釈

老叟——年老いた父

翁嫗——じい様とばあ様

鶴唳——鶴の鳴き声

嫗——老女

罔罟——あみ(鳥獸を捕る網)

鳴禽——鳴く鳥

機房——機を織る家、場所

老嫗——老婆

玉屑——ちらちら降る雪の様子

紛々——散り乱れる様

凜々——寒さの厳しい様子

下座のつばやき

世阿弥は、風姿花伝書の中で、「歌道は、能に美を与える。」と述べています。吟詠や和歌の朗詠は、剣舞・詩舞に美を与える。と言えましよう。また、能の修行に他事無用、としながらも、歌道だけは、別と言って奨励しています。ヴォックス会員の一員としては、改めて、詩心を涵養し、和歌の、創作・朗詠・鑑賞にも努力したいものです。気軽に一首。目力が強くなったことが、自覚できます。

翔雲

第六回「ヴォックス吟友のつどい」

並びに

岩淵公胤会長・寺橋暁穂本部長就任祝賀会

東京地区

各地活動報告

東京地区
加藤 心皇

平成十七年五月二十二日に第一回目を開催した東京地区主催の「ヴォックス吟友のつどい」(会員ニュース四十九号に掲載)の第六回が、五月二十五日(日)に、杉並区高円寺の「氷川神社会館」で開催された。

第一回は、大田区の「ライフコミュニケーション西馬込」であったが、その後、東京地区所属の各会持ち回りで春秋二回開催し、今回は、第六回となった。

この会場は二度目(平成十八年十二月三日第三回の会場)ですが、立派な舞台があり、マイク等の設備も整っている。

午後一時受付開始、一時三十分より受付順に岩淵先生の尺八伴奏で吟詠が始まる。全員が自由吟題で絶句を吟じ、一回りしたところで小休憩。今回は何故か「山行」を吟ずる人が多いようであるが、考えてみると、今日は五月二十五日で、六月一日のコンクール東京地区大会の一週間前である。コンクールに出場する方には良い練習の場になったようである。

一息入れて二回目目に入る。今度は長物「律詩」を入れたらどうか、という事になり、律詩を吟ずる人がかなり多くなった。これも練習の場として良い傾向であると思う。三回目目は、絶

句・律詩は自由選択で、イントロでの吟の出方、マイクの使い方等を勉強しながら終了した。

次回、第七回は十一月二日(日)に北区の会場で開催の予定です。参加される方々の希望、意見を伺いながら連吟の勉強、同じ会の会員同志の合吟の練習等も入れてみたいと思っております。四時三十分頃終了し、祝賀会の会場へ向う。途中、高円寺駅近くの花屋さんに寄り、先に注文しておいた花束を受け取り会場へ到着。

祝賀会のみ参加の方もいて、二十五名ほどの参加となった。

定刻五時、伊藤晃峰先生の乾杯で宴会が始まる。少々時間をおいて全体が盛り上がったところで、岩淵会長・寺橋東京地区本部長へ、それぞれ女性の先生より花束の贈呈が行われた。自然に盛大な拍手がおこる。

両先生より御礼の挨拶があり、ヴォックス音楽吟詠会の今後の更なる発展に向かっての決意を述べられました。宴席は更に盛り上がり、各テーブルとも話題がはずみ笑顔がこぼれる。



上) 寺橋暁穂先生
東京地区本部長
就任のお祝い



右) ヴォックス
吟友のつどい
(氷川神社会館)

楽しい時間の流れは速いもので、七時を回った頃、宴たけなわではありましたが、多田羅心龍先生の三本締めで、この祝賀会もめでたくお開きとなりました。

中部地区

静吟詩堂吟詠会 静鳳会
三ツ谷 静楼



皆様ご存知の、平安時代の歌人在原業平は「伊勢物語」に登場します。

からころも

きつつなれにし

つましあれば

はるばるきぬる

たびをしぞおもふ

在原業平 作

かきつばたまつり

知立市八橋町・無量寿寺の境内にて、毎年五月「かきつばた祭り」が行われます。そこでは、恒例となった「吟剣詩舞のつどい」が開かれ、運営舞台つくりをすべて地元の詩吟愛好者の、正に手づくりで致します。初心者、ベテランの隔て無く、詩吟大好き舞も大好きな人達が、実に朗々と吟じ堂々と舞を披露します。この世界に珍しいと言えは誤解もありましょうが自由闊達な催しです。

今年のお祭りは、五月十八日でした。

当日は、晴天に恵まれ、かきつばたも満開で見頃、参拝の人々の表情も明るく、好日そのもの。吟詠が境内に響き始めると、来訪者も足を止



カキツバタ詩吟の会（剣舞）

め、木々に囲まれた屋外舞台の前には、人垣が出来るほどになりました。新緑さわやかな中、名勝かきつばた園内の舞台に業平を偲びつつ、総勢八十余名の出演者は、一吟一舞を楽しみました。ヴォックスの先生方も、草薙典龍先生や都筑大鳳先生・一木翔雲先生はじめ、多数の方々に参加して頂き、大いに盛り上げて下さいました。本当に有難う御座いました。

総本部事務局会議

盛夏7月30日、事務局会議が開催され、東京より岩淵公胤会長出席、新事務局にねぎらいの言葉があり、本年2月・執行部会議の中で、発議された今後の懸案の内、規約改正の検討や30年記念祝賀会、向う2~3年度のコンクールなどの事務的な審議を致しました。



PO・E・SY 詩の広場 SA・LON

創作漢詩

中部地区

北辰神明流修桂会会長

長谷川 桂楓



初秋吟

一雨涼生夜氣清

月光入坐促吟情

郊墟蕭瑟露深処

颯颯西風吹有聲

いちゅうりょうしょう
一雨涼生じて 夜氣清し
げっこうざい
月光坐に入りて吟情を促がす
こうきょしょうひつ
郊墟蕭瑟として露深き処
さつさつ
颯颯たる西風吹いて声有り

平成二十一年度 コンクール課題

- | | | |
|----|-----------|------------|
| 12 | 和歌・俳句 | ※自作、新体詩を除く |
| 11 | 芳野 懐古 | 藤井竹外 |
| 10 | 名槍日本号 | 松口月城 |
| 9 | 酒に 対す | 白居易 |
| 8 | 折陽 柳 | 楊巨源 |
| 7 | 京都 東山 | 徳富蘇峰 |
| 6 | 九月 十日 | 菅原道真 |
| 5 | 生田に宿す | 管茶山 |
| 4 | 寒 梅 | 新島襄 |
| 3 | 河内 路上 | 菊池溪琴 |
| 2 | 富 岳 | 乃木希典 |
| 1 | 春夜洛城に笛を聞く | 李白 |

古典文学連載

次回56号より、枕草子を連載します。本文と平易な現代文と致します。女性の随筆として、最初のものですが、一条天皇の皇后・藤原定子の御付女房として、宮廷生活を気持ちの赴くままに記しています。作者・清少納言は宮仕えの名で本名は不祥です。以下次号。

ご案内

…… お知らせ ……

♪ 歌謡吟詠徳川家康入りCD発売 ♪
平成21年度 課題吟詠・20年度優勝者吟詠CD
発売御案内。ご購入は、各地区事務局長まで。
価格 1枚 ¥2,500

平成21年度課題専属吟詠家吟詠・平成20年度優勝者吟詠
歌謡吟詠(岩瀧公胤・草薙典龍・草薙麗堂)

広報部からのお願い

原稿募集!

南雲先生の御遺志を、どのように表して行くか。勇氣あるご提言・ご意見をお待ちしています。他に大会・各地行事報告・出来事・人物紹介・和歌漢詩の作品発表・吟詠随想、舞台雑感、文鑑賞・各流各会活動だよりなど。お知らせ下さい。

広報委員